

# 例会報告

第2614回例会報告議事録

日時 令和2年7月28日(火曜日)

場所 ハート柏迎賓館

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「手に手つないで」

ゲスト:なし

ビジター:なし

S.A.A.:小池喜之

## 会長挨拶

村越会長



本来でありましたら、先週の金曜日に開会式が行われていたはずの東京オリンピック、今頃は日本選手の活躍に一喜一憂していることでしょうか。

新型コロナはいまだに終息しないどころか、ここに来て感染者の数も都内では連日200人を越え、我孫子市や近隣市でもじわじわ増えている状況です。

国家レベルでは、先日記者会見を行った、西村経済再生担当大臣はリモートワークや時差出勤の推進に合わせて、飲み会を含めた「大人数の会合」を控えるよう求めています。

鈴木ガバナー補佐からも第11グループの各クラブに例会の運営について考慮するよう指示が来ました。

本日も食事の時間は会話をしない、食後にマスクを着用してから話をするようSAAから指示して頂きました。味気ない食事になってしまったかと思いますが、感染予防の観点から、ご理解いただきたいと思います。

また急ではございますが本日例会の終了後に、臨時理事会を開催して、8月以降の例会の開催の有無、開催するのであれば、その方法について議論したいと思います。決定につきましては皆様にすぐにご連絡させていただきます。

本日、お手元にちょっと派手なチラシを配らせていただきました。直接ロータリーの話ではなく大変恐縮なんですけれども、先々週、星野我孫子市長よりお話がありましたが、コロナで影響を受けた企業への我孫子市で行っている支援策のひとつ、あびチケです。市内の飲食店で使える、5000円で買える6000円分の食事券です。購入の仕方はネット上のクラウドファンディングです。お店への寄付もできます。商工会と我孫子市の共同で行っている事業ですので、宜しく願います。

本日は今年度初めての会員による卓話ということで、クラブ最年長の瀧日会員の卓話がございます。いつも興味深いお話をして頂けるので、本日も楽しみにしております。宜しくお願い致します。

## 親睦委員会報告

柳田委員長



親睦旅行の予定候補を10月4日(日)・5日(月)と決めさせていただきましたが、最近の状況をみて再度保留という判断させていただくこととしました。明確になりましたら、また親睦委員会でもませていただいております。

## 出席委員会報告

前田委員長



22名(出席免除者含む)出席(全員で32名)出席率68.75%

業務の為:石原会員、小野会員、小山会員、佐藤拓司会員、佐藤雅教会員、堤会員、寺井会員、福武会員、湯下会員、米田会員

## 小池 S.A.A. よりお願い

小池 S.A.A.



委員会報告をされる場合は、事前にお知らせいただけますと時間配分の上で助かります。何分くらいかかるかも合わせてお知らせいただけますようお願い致します。



- ・柏RCの活動計画書受理。ご覧になりたい方は事務局までお声かけください。
- ・地区より9月12日(土)に開催されるロータリー財団セミナーのお知らせ受理。松本財団委員長と村越会長、ご出席の程よろしく願い致します。
- ・地区のホームページに世界大会のご案内が掲載されました。来年の6月13日(日)・14日(月)です。
- ・姉妹クラブ、豊原RCの創立60周年記念式典が6月12日(土)に開催されますので、日にちが近くなりましたら取りまとめて皆さんで参加したいと思います。
- ・例会後、臨時理事会を行いますので理事の方はお残りください。

## 卓話「一万円札の肖像」

瀧日会員



今日は皆さんの好きな一万円札の話です。2024年から一万円札の肖像が福澤諭吉から渋沢栄一に変わります。一万円札というのは日本の顔でもありますから、変わるということは重要な問題だなと思ひまして、興味がありましたので調べて、福澤諭吉と渋沢栄一が書いた本を読んでみました。皆さんにご紹介したいと思ひます。

皆さん、福澤諭吉や渋沢栄一の名前はご存知だと思います。

福澤諭吉は1835年1月10日生まれで1901年に66歳で亡くなりました。私が1935年の1月10日生まれですから、私よりジャスト100年前に諭吉は生まれていますので、ちょっと縁があるような気がしないでもありません。

下級武士の生まれです。勉学にいそしみ、蘭学者、著述家、思想家、教育者で、慶應義塾大学の創始者として有名です。「学問のすすめ」という本が有名です。慶應の学生にその本を読んだかと聞くと、意外と読んでいません。今の大学生で「学問のすすめ」を読んだ学生はまずいません。

一万円札の肖像として40年間、諭吉は滞在しました。その前は聖徳太子でした。

諭吉は19歳で蘭学を志して長崎に遊学し、大阪の緒方洪庵の塾で猛勉強をしました。1858年に藩の命令により江戸の中津藩中屋敷に蘭学塾を開設し、これが慶應義塾のスタートとされています。

有名な咸臨丸(かんりんまる)に乗ってアメリカに行き、ヨーロッパ諸国にも行きました。

有名な本としては「学問のすすめ」「西洋事情」「文明論之概略」等があり、「学問のすすめ」は発行数70万部の当時の大ベストセラーでした。

「学問のすすめ」の最初の言葉は、有名な「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず」です。人間は生まれながらに平等であり、同じ権利を持って身分の上下もない、という主張は士農工商がまだ生きている時代には非常に斬新な主張でした。

私の記憶では、お祖母さんの戸籍に「平民」と書いてありました。明治の初めの頃は身分が戸籍、公文書にも書かれていました。私の母の親父、お祖父さんが常に口にしていたのは「槍一筋の武士の娘だ」という言葉です。侍の身分だったということが誇りだったのだと思います。私のお袋は嫁入りの時に護身の短刀を持っていました。私は短刀を見てびっくりしました。

その頃に人間はすべからず平等だということを声高く主張していたというのは凄いことだし、素晴らしい人だと思います。

「学問のすすめ」で言っている学問というのは、難しい文章をそらんじたりすることではなく、実社会で役に立つ実用性のあることだと言っています。たとえば、そろばんを覚えたり、数学、物理等の実用性のあるものが学問であると主張しています。

それをやることによって、自分の意識がはっきりして、経済もうまく回り、幸せな生き方ができると書いてあります。

当時の日本は主君の命令に従って動く世界でしたが、それではだめで個人個人が独立をして自分で判断をして行動するようにならないといけない。当時は日本が植民地化される危険性がありました。イギリスがアヘン戦争で勝って中国を植民地にしたり、東南アジアもかなり植民地になっていましたが、日本が植民地にならなくてすんだのは、こういう意志のある人たちが一生懸命やってくれたおかげだと思います。植民地になることを防ぐことも重要でした。そのために国民すべて開学を思想を鼓舞していました。

女大学という言葉が昔ありました。女大学というのは女性が生活する上での規範です。女大学の中には「女三界に家なし」という言葉もありました。聞いたことがありますか。若い人はないと思います。女は子どもの頃は親に従い、嫁しては夫に従い、老いては子に従え、という思想です。この思想を福澤諭吉は「学問のすすめ」の中で徹底的に批判しました。

(次ページへ続く)

個人と国家の関係についても、国家は個人に契約もしくは委託されているので、国民一人一人のために安全保障をして守るべきである、という今でも通用する話もしています。

一方、国民は気持ちよく税金を払え、少しのお金で安全を買えるなんて、これほど安い買い物はない、ということも書かれています。

全体的に言いますと、民主主義の基本、身分制に対する批判、人間の相互間の権利、平等ということ述べています。明治にこういう本を書いたというのは、まさに見事というしかありません。

次に渋沢栄一についてお話したいと思います。

渋沢栄一は1840年に生まれ、昭和6年に91歳で亡くなりました。埼玉県深谷市の豪農の生まれです。その後、武士になりました。

子どもの頃は武士の通例として中国の四書五経を学びましたが、青年期には江戸へ出て千葉道場で剣術を学び、勤王志士と交流しました。その頃は江戸幕府でした。尊王攘夷思想に傾倒し、とんでもない計画を立てました。高崎城を乗っ取って武器を奪い、横浜を焼き払い、長州と提携して幕府を倒すという計画に参画しましたが、勤王志士なんて時代遅れだと義理の兄貴に説得され、計画を中止しました。

その後がおもしろいのですが、尊王攘夷志士が徳川慶喜の家臣になり、慶喜が将軍になったので幕臣、幕府の直轄の侍になってしまいました。

それからいろいろ運が変わってくるのですが、パリ万博に随員として行きました。ついでとしてヨーロッパ各国を訪問し、これがこの人の思想を培ったのだと思います。文明的には日本がいかに遅れているか、西欧諸国が進んでいるかを痛感して帰ってきました。

それから時の政府、明治政府から依頼があり大蔵大臣になり、民部省の改革や、国立銀行の制定に携わったりしました。予算編成を巡って大久保利通、大隈重信と対立して役人をやめました。

退官後、民間に戻り、まずは第一国立銀行(現みずほ銀行)の頭取になり、いろいろな地方銀行を設立しました。その他、日本の代表的な会社を渋沢栄一が作りました。約500社作ったそうです。

東京電力、日本郵船、東京ガス、東洋紡、帝国ホテル、田園都市(現東急)、王子製紙、聖路加病院、麒麟ビール、サッポロビール、東京証券取引所も作っています。素晴らしい業績だと思います。

「論語と算盤」という本があります。これは彼の講演の口述をまとめたものです。大正5年に発行されました。彼の経営哲学が説かれていて、非常に参考になります。

バックボーンになっているのが論語です。紀元前500年くらいの孔子という人が弟子と一緒にあちらこちらを回った時の言動を孫弟子たちがまとめたのが「論語」です。これが日本の場合、かつての侍レベルの階級の人たちにとっては重要なテキストだったわけです。これを渋沢栄一も子どもの頃に習い、身に付けていました。

論語をバックボーンにして経済活動をします。論語というのは経済活動にとって非常に役に立つ、論語を拠り所にして倫理面をバックボーンにして利益を得る、という考え方が「論語と算盤」に書かれています。

この本の中で彼が口を酸っぱくして言っているのは、「自分個人だけの利益を求めるのではなく、国全体を富ませるという意識で経済活動をしなくてははいけない。それによって得る利益は当然の結果として得ていいものだが、自分一人で独占するべきではなく、社会に還元すべきである」ということです。

「論語と算盤」に書かれている経営哲学で経済活動をやって、なんと約500社の会社を設立し、その大部分が未だ日本の大企業として存在しています。これは素晴らしい逸材だったと言わざるを得ません。

来年のNHKの大河ドラマの主人公は渋沢栄一だそうです。

渋沢栄一は正妻との間に四男三女の子どもがいたのですが、その他にお妾さんが多数いて、なんとその子どもが30人とされています。最後に作った子どもは80歳過ぎてからのことです。「私は自分の生涯を通じて何も恥じることはない。ただ女性関係に関しては何とも言えない」と自分で認めていたそうです。

それに反して福澤諭吉は結婚前、結婚後も嫁さん以外の女性に指一本触れたことがありませんでした。ほぼ同時代に生きた偉人ですが、女性に関してはそれだけの大きな差がありました、というお話でございます。

ありがとうございました。

瀧日さん、いつも楽しい興味深いお話をありがとうございます。  
2614回の例会を閉会いたします。点鐘いたします。

## ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
村越会長	瀧日会員 興味深い卓話ありがとうございました。	1,000円
荒井会員	瀧日会員 卓話ありがとうございました！	1,000円
上村文明会員	瀧日さん卓話ありがとうございます。	1,000円
上村英生会員	瀧日先生ありがとうございます。	1,000円
木村会員	瀧日会員 卓話 有難うございました。	1,000円
梶会員	瀧日さん卓話ありがとうございます。	1,000円
小池会員	瀧日会員 卓話ありがとうございました。	1,000円
鈴木会員	瀧日さん お話ありがとうございました。	1,000円
瀧日会員	卓話をさせて頂きました。有難うございました。	1,000円
日暮会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
服部会員	瀧日さん 卓話ありがとうございました。	1,000円
藤本会員	何時も先生の卓話は楽しみにしています。	1,000円
前田会員	瀧日会員 卓話ありがとうございました。	1,000円
柳田会員	瀧日先生ありがとうございます。	1,000円
依田会員	瀧日先輩すばらしい卓話ありがとうございました。	1,000円
	当日計	15,000円
	今期累計	72,000円

今週の表紙「アビクオーレ」我孫子市本町3-2-28

ロータリーの友事務局 ホームページ [www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp) メールは [web@rotary-no-tomo.jp](mailto:web@rotary-no-tomo.jp)

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



**森の町内会**  
間伐に寄与する紙  
[www.mori-cho.org](http://www.mori-cho.org)

この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。